

令和 6 年度カキ養殖概況

中根康介*・小見山秀樹

養殖規模 令和 6 年度の漁業協同組合別マガキ養殖状況を表 1 に示した。全県の経営体数は、前年度から 3 経営体減少し、121 経営体であった。筏台数は、前年度から 61 台増加し、1,954 台であった。

養殖経過 本年度における牛窓沖海水温の年平均偏差の推移を図 1 に示した。4～9 月は平年値との差が-1.6～2.2℃の間で変動した。その後、10 月上旬から 3 月下旬は平年値との差が-1.4～2.8℃で推移した。

カキ養殖漁場 38 定点におけるクロロフィル *a* 量の平均値は、抑制期（4～9 月）は 6.2 μ g/L と平年値（5.3 μ g/L）を上回り、養成期（10～翌 3 月）は 3.5 μ g/L と平年値（3.8 μ g/L）並みであった。

本垂下は主に 4 月中旬～6 月上旬、沖出しは 9 月中旬～10 月下旬の間に行われた。生産は 11 月上旬から順次開始され、前年度と同様、例年より遅めの開始となった。成育状況は、西部地区でカレニア・ミキモトイが 7 月下旬～8 月上旬に発生したが、成長に大きな影響は見られず、県下全域で生産開始当初から殻高は小さかったが身入りは良好であった。また、12 月中旬から徐々に殻高が大きくなり、1 月以降には例年並みの大きさに成長し、良好な身入りが漁期終盤まで継続された。

生産結果 生産量は前年度比 105%の 3,311t となった（表 1）。また、平均単価は県外産地の生産不調もあり、漁期を通じて高く推移し、生産金額は前年度比 115%の 40 億円となった。

表 1 マガキ養殖状況（令和 6 年養殖年度）

漁協名	経営体数	筏台数	沖出し時期 (月/日)	生産時期 (月/日)	生産量	
					むき身 (t)	対前年度比(%)
日生町	38	470	10/ 6 - 10/ 7	11/14 - 5/ 6	1,346	93
伊里	5	39	10/ 8 - 10/ 9	11/10 - 4/ 6	27	131
邑久町	53	1,248	9/12 - 10/20	11/10 - 5/20	1,623	113
牛窓町	4	78	10/8	11/14 - 4/30	97	150
寄島町	16	88	10/24 - 10/29	11/ 5 - 5/ 2	192	117
笠岡市	5	31	10/15 - 10/25	12/ 1 - 4/30	25	139
合 計	121	1,954	9/12 - 10/29	11/ 5 - 5/20	3,311	105

その他 県及び岡山県漁業協同組合連合会が実施した 10 月から 3 月までのノロウイルス検査は、443 検体中 1 検体が陽性で、陽性率は 0.2%であった。

採苗は、東部地区で 7 月中旬から開始され、伊里、牛窓町漁協では 7 月下旬までには予定数が確保された。日生町、邑久町漁協の一部地区では、まとまった数の幼生が発生せず、9 月上旬から 9 月下旬の間で予定数が確保された。

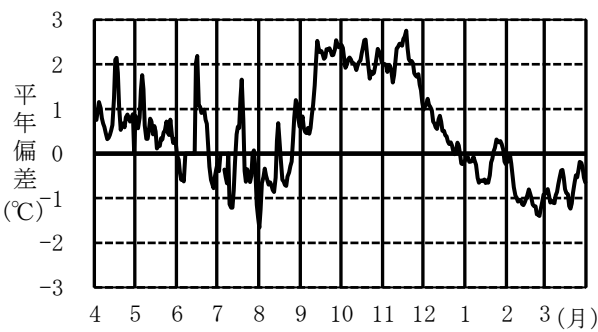


図 1 令和 6 年度における牛窓沖海水温の年平均偏差の推移（平年値は 1991～2020 年の平均）

* 岡山県農林水産総合センター普及連携部普及推進課